

問1 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？

1. 武家造 2. 数寄屋造 3. 寝殿造 4. 書院造

問2 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？

1. 加賀国 2. 大和国 3. 山城国 4. 伊賀国

問3 室町時代に惣村で村の運営のために行われた、住民による話し合いの集会を何という？

1. 寄り合い 2. 寄合衆 3. 座 4. 惣領

問4 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？

1. 保元の乱 2. 平治の乱 3. 承久の乱 4. 建武の新政

問5 浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民が、加賀国で倒した守護大名は誰ですか？

1. 細川勝元 2. 山名宗全 3. 富樫政親 4. 畠山義就

問6 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？

1. 足利義満 2. 足利尊氏 3. 足利義持 4. 足利義政

問7 足利義政の後継者争いをきっかけに発生した応仁の乱は、何年間続いた？

1. 12 2. 15 3. 10 4. 11

問8 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？

1. 南蛮貿易 2. 日宋貿易 3. 朱印船貿易 4. 日明貿易

問9 室町幕府において、将軍を補佐するために置かれた幕府の重要役職を何という？

1. 探題 2. 守護 3. 管領 4. 地頭

問10 鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治を何というか？

1. 寛政の改革 2. 建武の新政 3. 天保の改革 4. 明治維新

問11 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇の政権から離反し、京都に武家政権を樹立した人物は誰？

1. 足利尊氏 2. 足利義政 3. 足利義教 4. 足利義満

問12 室町時代に回数が増え、貨幣経済が浸透するきっかけとなった定期的な市場のことを何という？

1. 問屋 2. 定期市 3. 仲買 4. 座

問13 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代将軍は誰？

1. 足利義政 2. 足利義満 3. 足利尊氏 4. 足利義持

問14 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？

1. 年寄衆 2. 会合衆 3. 評定衆 4. 引付衆

問15 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？

1. 足利義詮 2. 足利直義 3. 足利尊氏 4. 足利義満

問16 室町時代、京都に慈照寺銀閣を建てて、簡素で気品ある文化の発展を支えた将軍は誰？

1. 足利尊氏 2. 足利義政 3. 足利義満 4. 足利義教

答え合わせ・解説

問1	答え 4 書院造	書院造は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。畳を部屋全体に敷き詰めることが一般的となり、武家だけでなく後に公家や寺院にも取り入れられました。これにより、現在私たちが生活する「和室」の空間デザインが完成しました。
問2	答え 1 加賀国	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。門徒たちは結託して守護大名を追放し、その後約100年間にわたり、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるほど、民衆自身による自治を実現しました。
問3	答え 1 寄り合い	「寄り合い」は、村の運営に関わる重要な事項を決定するための集会です。ここで村独自のルールである「惣掟」を定めたり、年貢の配分や用水路の管理などについて話し合ったりしました。農民たちは対等に近い立場で議論に参加しました。
問4	答え 4 建武の新政	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。その結果、土地を失うことへの不安や恩賞への不満を抱いた武士たちの支持を失いました。混乱の中で足利尊氏が離反し、新たな政権へと移行することになりました。
問5	答え 3 富樫政親	当時の加賀国では、守護大名の富樫政親が教団の勢力を抑えようと対立を深めました。これに対し、1488年に門徒らが蜂起し、守護所を襲撃して政親を自害に追い込みました。
問6	答え 1 足利義満	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。金閣は伝統的な公家文化と新興の武家文化を融合させた豪華な建物です。この建築様式は、義満の時代の文化を象徴するものとなりました。
問7	答え 4 11	この戦乱は11年もの長期間にわたって続きました。京都の主要な施設や町並みはことごとく焼き払われ、幕府の権力は形骸化しました。全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、地方にも戦火が広がり、秩序が大きく崩れました。
問8	答え 4 日明貿易	日明貿易は、当時の日本にとって中国の文物を輸入する重要な手段でした。明側からは銅銭（永楽通宝など）や絹織物、書物などが輸入され、日本からは金、銀、工芸品などが輸出されました。この利益によって堺や博多の都市が繁栄し、経済的に自立する大きな原動力となりました。
問9	答え 3 管領	「管領」は幕府の最高職であり、将軍に代わって政務を取り仕切る重要な役割を担いました。特に力のある有力な守護大名の家柄（斯波、細川、畠山氏など）から選ばれることが多く、幕政の実権を左右する大きな影響力を持っていました。
問10	答え 2 建武の新政	後醍醐天皇は、天皇中心の政治を行うために、公家を重用し武士の意見を十分に聞き入れない政策を行いました。京都を中心としたこの政治体制は、武士の土地の権利を不安定にしたため、多くの武士の不満を買う結果となりました。このため、わずか2年半ほどで崩壊しました。
問11	答え 1 足利尊氏	足利尊氏は有力な武士団を率いて後醍醐天皇に背き、光明天皇を立てて京都に新しい武家政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問12	答え 2 定期市	定期市は、3のつく日や6のつく日など、決められた日に地域の人々が集まって開かれました。農産物や手工業製品、そして中国から輸入された品々が取引され、流通拠点として商業が飛躍的に発展する場となりました。
問13	答え 1 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問14	答え 2 会合衆	会合衆は、堺の有力者による合議組織です。彼らは町を運営するための相談役や意思決定者として活動し、堀をめぐらせるなどの防衛策を講じたり、町独自の法を運用したりしました。この組織により、堺は「日本で最も自由な都市」としての地位を確立しました。
問15	答え 4 足利義満	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。
問16	答え 2 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘を構え、茶の湯や華道、連歌などの文化的な活動を奨励しました。義政自身が理想とした「わび・さび」という美的感覚が、その後の建築や庭園のデザインに反映されました。

問1 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？

1. 後白河天皇 2. 後鳥羽天皇 3. 後醍醐天皇 4. 後深草天皇

問2 下剋上の風潮の中で、守護大名が衰えた後に各地で登場した新しい支配者のことを何という？

1. 国司 2. 公家 3. 守護大名 4. 戦国大名

問3 室町幕府の体制において、将軍の補佐役を務め、地方統政を担う重要な機関でもあった役職を何という？

1. 管領 2. 評定衆 3. 執権 4. 探題

問4 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何といいますか？

1. 朝貢貿易 2. 勘合貿易 3. 中継貿易 4. 南蛮貿易

問5 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？

1. 勘合貿易 2. 南蛮貿易 3. 朝貢貿易 4. 中継貿易

問6 浦島伝説が収められている、奈良時代に編集された日本最古の歌集を何という？

1. 万葉集 2. 新古今和歌集 3. 古今和歌集 4. 拾遺和歌集

問7 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？

1. 加賀国 2. 大和国 3. 山城国 4. 伊賀国

問8 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

1. 佐敷 2. 那覇 3. 浦添 4. 首里

問9 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

1. 後醍醐天皇 2. 足利義満 3. 光厳天皇 4. 足利尊氏

問10 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

1. 枕草子 2. 御成敗式目 3. 方丈記 4. 二条河原の落書

問11 尚氏が沖縄本島を統一し、琉球王国を建てた時期はいつ頃？

1. 15世紀 2. 17世紀 3. 16世紀 4. 14世紀

問12 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？

1. 伊勢国 2. 近江国 3. 大和国 4. 山城国

問13 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といいますか？

1. 七五調 2. 五七調 3. 五五調 4. 七七調

問14 堺などのような、海上輸送の拠点として栄え、商人が集まる町のことを一般的に何という？

1. 港町 2. 城下町 3. 宿場町 4. 門前町

問15 京都を中心として栄え、わび・さびを特徴とする室町時代の文化を何という？

1. 北山文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 東山文化

問16 室町時代に信仰を基盤として団結した民衆が、領主に抵抗して起こした武装蜂起を何というか？

1. 日蓮宗 2. 禅宗 3. 浄土真宗 4. 浄土宗

答え合わせ・解説

問1	答え 3 後醍醐天皇	しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。1334年に京都の二条河原に立てられた落書は、この無秩序な世相や公家による政治への批判を、七五調で風刺したものです。
問2	答え 4 戦国大名	戦国大名は、領民を直接掌握し、分国法を作るなどして独自の領地支配を行いました。彼らは城を拠点とし、軍事と行政を一体化させて、自分の領地を強く支配しようとしました。
問3	答え 1 管領	管領は、足利氏の一門である有力な守護大名（斯波氏、細川氏、畠山氏）が交替で務めた役職で、将軍を助けて幕府の政治や行政を統括しました。鎌倉府のような地方機関が力を強める中、中央の幕府を支える要としての役割を果たしました。
問4	答え 3 中継貿易	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。
問5	答え 1 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問6	答え 1 万葉集	万葉集は、天皇や貴族だけでなく、防人や名もなき人々が詠んだ歌を約4500首も集めた巨大な歌集です。その中には浦島太郎の原型となる物語が含まれており、後世の文学や絵入りの物語に多大な影響を与えました。
問7	答え 1 加賀国	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。門徒たちは結託して守護大名を追放し、その後約100年間にわたり、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるほど、民衆自身による自治を実現しました。
問8	答え 4 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問9	答え 1 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問10	答え 4 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問11	答え 1 15世紀	15世紀に入り、尚巴志が各地の勢力を平定して沖縄本島を統一し、琉球王国を建国しました。この国は、東アジアの海域ネットワークの中心として、中国や日本、東南アジアとの中継貿易によって大きな繁栄を遂げました。
問12	答え 2 近江国	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。
問13	答え 1 七五調	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。これにより、多くの人々に内容が伝わり、政治的な批判が庶民の間にまで浸透しました。
問14	答え 1 港町	港町は、船による海上輸送の拠点として、国内外の物資が荷揚げされる場です。堺は大阪湾の港町として、国内外との交易を通じて発展しました。そこには商人たちが店を構え、倉庫を建て、金融業も発達しました。
問15	答え 4 東山文化	東山文化は、禅宗の影響を強く受けているのが特徴です。簡素で落ち着いた「わび・さび」の精神が重視され、書院造の原型や水墨画、能楽などが大きく発展しました。これまでの武家文化と公家文化が融合し、現代の日本文化にもつながる大きな影響を与えました。
問16	答え 3 浄土真宗	浄土真宗は「悪人正機」の教えを掲げ、身分に関係なく救われることを説いたため、農民や商人たちに深く浸透しました。共通の信仰で結ばれた門徒たちは、寺院を中心に強固な団結力を持ちました。この団結が、守護大名に対抗する際の大きな力となり、各地で武装蜂起を起こす原動力となりました。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 和室	和室は、床の間という芸術品を飾る空間や、畳という天然素材の床材を備えた部屋です。室町時代に成立した様式がベースとなっており、その後、江戸時代などを通じて人々の生活様式に適したものへと変化してきました。現在においても、伝統的な生活空間として多くの家に親しまれています。
問2	答え 3 雪舟	雪舟は日本の禅僧でありながら、遣明船に乗って中国へ渡り、本場の絵画技術を学びました。帰国後、彼は風景を大胆な構図で表現する日本独自の水墨画を確立し、数多くの傑作を残しました。「四季山水図巻」などが代表作として知られています。
問3	答え 4 東山文化	東山文化は、禅宗の影響を強く受けているのが特徴です。簡素で落ち着いた「わび・さび」の精神が重視され、書院造の原型や水墨画、能楽などが大きく発展しました。これまでの武家文化と公家文化が融合し、現代の日本文化にもつながる大きな影響を与えました。
問4	答え 1 応仁の乱	応仁の乱は1467年に始まり、約11年間にわたって京都を舞台に繰り広げられた戦いです。この戦いにより、京都の町は荒廃し、幕府の権威は地に落ちました。守護大名が領国を留守にしていたため、各地で下剋上の風潮が強まりました。
問5	答え 3 中継貿易	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。
問6	答え 3 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。彼らは守護大名を追放し、加賀国のように長期間にわたり自分たちの支配を確立する地域もありました。
問7	答え 2 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、天皇が権力を集中させる「建武の新政」を開始しましたが、武士の利益を無視した政策が多く、武士たちの反発を招きました。
問8	答え 1 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁齋という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。
問9	答え 1 万葉集	万葉集は、天皇や貴族だけでなく、防人や名もなき人々が詠んだ歌を約4500首も集めた巨大な歌集です。その中には浦島太郎の原型となる物語が含まれており、後世の文学や絵入りの物語に多大な影響を与えました。
問10	答え 3 徳政	土一揆において農民たちは「徳政」を要求しました。これは、債務者の借金を無効にする、あるいは利子を免除するといった救済措置のことです。彼らは酒屋や土倉を襲い、借金の証文を奪って破棄させるなどの実力行使を行いました。
問11	答え 4 沖縄本島	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。
問12	答え 1 管領	管領は、足利氏の一門である有力な守護大名（斯波氏、細川氏、畠山氏）が交替で務めた役職で、将軍を助けて幕府の政治や行政を統括しました。鎌倉府のような地方機関が力を強める中、中央の幕府を支える要としての役割を果たしました。
問13	答え 1 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問14	答え 3 勘合貿易	勘合貿易は、倭寇の取り締まりを条件に明との間で行われた公貿易です。幕府や一部の大名が主導し、銅銭や絹、美術品などを輸入しました。これにより莫大な富を得た幕府は、室町文化の発展を支えることになりました。
問15	答え 4 応仁の乱	この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。将軍の権威は失墜し、守護大名同士の勢力争いが全国へ拡大しました。
問16	答え 3 足利義満	義満は、観阿弥・世阿弥の父子による猿楽（能）の才能を高く評価し、強力な後援者となりました。これにより、能は庶民の芸能から武家社会でも愛される芸術性の高い芸能へと進化しました。また、彼は金閣を建てるなど北山文化を築いたことでも知られています。

問1 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

1. 枕草子 2. 御成敗式目 3. 方丈記 4. 二条河原の落書

問2 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？

1. 鎌倉幕府 2. 室町幕府 3. 江戸幕府 4. 明治政府

問3 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？

1. 土倉 2. 寄合 3. 惣 4. 座

問4 室町時代に、幕府が許可を与えた商船が中国の明と行った貿易を何という？

1. 朱印船貿易 2. 遣唐使 3. 北前船貿易 4. 勘合貿易

問5 借金の帳消しなどを求めて、高利貸しなどを襲撃した農民らの蜂起を何という？

1. 国一揆 2. 島原の乱 3. 土一揆 4. 一向一揆

問6 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

1. 後醍醐天皇 2. 足利義満 3. 光厳天皇 4. 足利尊氏

問7 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？

1. 一揆 2. 下剋上 3. 一門 4. 落胤

問8 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？

1. 能楽 2. 水墨画 3. 書院造 4. 枯山水

問9 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？

1. 足利義詮 2. 足利直義 3. 足利尊氏 4. 足利義満

問10 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？

1. 撰銭令 2. 合い札 3. 勘合符 4. 通行手形

問11 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？

1. 実力 2. 家格 3. 門地 4. 血縁

問12 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？

1. 南蛮貿易 2. 日宋貿易 3. 朱印船貿易 4. 日明貿易

問13 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇の政権から離反し、京都に武家政権を樹立した人物は誰？

1. 足利尊氏 2. 足利義政 3. 足利義教 4. 足利義満

問14 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送していた運送業者を何という？

1. 問丸 2. 馬借 3. 車借 4. 座

問15 慈照寺銀閣の東求堂同仁齋に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？

1. 和室 2. 床の間 3. 書院造 4. 畳

問16 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？

1. 足利義政 2. 足利義満 3. 足利尊氏 4. 足利義教

答え合わせ・解説

問1	答え 4 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問2	答え 1 鎌倉幕府	鎌倉幕府は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。しかし、1333年に足利尊氏や新田義貞の活躍によって滅亡しました。これにより約150年続いた武士による支配体制が一時的に崩れることとなりました。
問3	答え 1 土倉	「土倉（どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。酒屋とともに幕府から営業の認可を得る代わりに税を納めることで、幕府の重要な財源となりました。
問4	答え 4 勘合貿易	足利義満が明の皇帝と交渉し、正式な貿易が始まりました。日本側は証明書である「勘合」を持つ船のみが貿易を許可され、日本からは刀剣や工芸品が、明からは生糸や「永楽通宝」などの銅銭が輸入されました。
問5	答え 3 土一揆	「土一揆（つちいっき）」は、経済的な困窮に追い込まれた農民たちが団結して起こした反乱です。特に、高利貸しを営む土倉や酒屋を襲撃して、借用書を破棄させる「徳政（借金の帳消し）」を幕府に要求しました。
問6	答え 1 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問7	答え 2 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問8	答え 4 枯山水	枯山水は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。見る人の想像力に訴えかける「わび・さび」の精神が重視されました。
問9	答え 4 足利義満	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。
問10	答え 2 合い札	勘合符とは、明の皇帝が発行した証明書で、半分に分かれた「合い札」という形式をとっていました。日本からの使節団が到着した際、明側が持つ半分と突き合わせ、一致すれば貿易が許可されました。これにより、幕府の許可を得た船であることが証明され、安全な交易が可能となりました。
問11	答え 1 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問12	答え 4 日明貿易	日明貿易は、当時の日本にとって中国の文物を輸入する重要な手段でした。明側からは銅銭（永楽通宝など）や絹織物、書物などが輸入され、日本からは金、銀、工芸品などが輸出されました。この利益によって堺や博多の都市が繁栄し、経済的に自立する大きな原動力となりました。
問13	答え 1 足利尊氏	足利尊氏は有力な武士団を率いて後醍醐天皇に背き、光明天皇を立てて京都に新しい武家政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問14	答え 2 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせて、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問15	答え 1 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁斎という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。
問16	答え 3 足利尊氏	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。これは、京都の幕府とは別に、東国の軍事や行政をまとめる重要な組織として機能しました。

問1 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？

1. 明応の政変 2. 元寇 3. 観応の擾乱 4. 応仁の乱

問2 借金の帳消しなどを求めて、高利貸しなどを襲撃した農民らの蜂起を何という？

1. 国一揆 2. 島原の乱 3. 土一揆 4. 一向一揆

問3 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？

1. 後白河天皇 2. 後鳥羽天皇 3. 後醍醐天皇 4. 後深草天皇

問4 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？

1. 能楽 2. 水墨画 3. 書院造 4. 枯山水

問5 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？

1. 伊勢国 2. 近江国 3. 大和国 4. 山城国

問6 守護大名を倒し、約100年間にわたって民衆による自治が行われた現在の石川県にあたる地域はどこか？

1. 大和国 2. 加賀国 3. 山城国 4. 伊賀国

問7 祇園祭が室町時代に一時中断する原因となった、京都を主戦場とした大規模な内乱を何という？

1. 享徳の乱 2. 観応の擾乱 3. 応仁の乱 4. 文明の乱

問8 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送していた運送業者を何という？

1. 問丸 2. 馬借 3. 車借 4. 座

問9 室町幕府の足利尊氏によって京都を追われ、吉野に南朝を開いた天皇は誰？

1. 後醍醐天皇 2. 光厳天皇 3. 後村上天皇 4. 後亀山天皇

問10 応仁の乱以降、農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きの一つを何という？

1. 山城国一揆 2. 正長の土一揆 3. 一向一揆 4. 土一揆

問11 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？

1. 撰銭令 2. 合い札 3. 勘合符 4. 通行手形

問12 室町時代、農民たちが借金の帳消しを求めて、高利貸しなどを襲撃した出来事を何という？

1. 土一揆 2. 国一揆 3. 一向一揆 4. 島原の乱

問13 尚氏が沖縄本島を統一し、琉球王国を建てた時期はいつ頃？

1. 15世紀 2. 17世紀 3. 16世紀 4. 14世紀

問14 室町時代に中継貿易で日本や東南アジアと活発にやり取りをしていた国はどこ？

1. タイ 2. 中国 3. フィリピン 4. 朝鮮

問15 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

1. 枕草子 2. 御成敗式目 3. 方丈記 4. 二条河原の落書

問16 書院造などの様式を取り入れ、現在私たちが生活する住まいの呼び名となっている部屋の種類を何という？

1. 洋室 2. 座敷 3. 茶室 4. 和室

答え合わせ・解説

問1	答え 4 応仁の乱	この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。将軍の権威は失墜し、守護大名同士の勢力争いが全国へ拡大しました。
問2	答え 3 土一揆	「土一揆（つちいっき）」は、経済的な困窮に追い込まれた農民たちが団結して起こした反乱です。特に、高利貸しを営む土倉や酒屋を襲撃して、借用書を破棄させる「徳政（借金の帳消し）」を幕府に要求しました。
問3	答え 3 後醍醐天皇	しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。1334年に京都の二条河原に立てられた落書は、この無秩序な世相や公家による政治への批判を、七五調で風刺したものです。
問4	答え 4 枯山水	枯山水は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。見る人の想像力に訴えかける「わび・さび」の精神が重視されました。
問5	答え 2 近江国	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。
問6	答え 2 加賀国	加賀国では、一向一揆が勢力を拡大し、ついに守護大名を追放することに成功しました。その後、約100年もの長い間、武士や農民たちが話し合いを通じて村を運営する自治が実現しました。これは、当時の日本において珍しい「百姓の持ちたる国」と呼ばれる現象でした。
問7	答え 3 応仁の乱	約11年間にわたって京都の市街地が戦場となり、寺院や屋敷が焼き払われました。京都の街は壊滅的な被害を受けましたが、一方で幕府の権威は地に落ち、全国で下剋上の風潮が強まることとなりました。
問8	答え 2 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせ、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問9	答え 1 後醍醐天皇	武士の支持を失った後醍醐天皇は、足利尊氏と対立して京都を追われました。尊氏が京都に別の天皇を立てると、自らは奈良の吉野へ逃れ、そこで南朝を開きました。これ以降、京都の北朝と吉野の南朝が並立する動乱の時代が始まりました。
問10	答え 3 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。彼らは守護大名を追放し、加賀国のように長期間にわたり自分たちの支配を確立する地域もありました。
問11	答え 2 合い札	勘合符とは、明の皇帝が発行した証明書で、半分に割った「合い札」という形式をとっていました。日本からの使節団が到着した際、明側が持つ半分と突き合わせ、一致すれば貿易が許可されました。これにより、幕府の許可を得た船であることが証明され、安全な交易が可能となりました。
問12	答え 1 土一揆	土一揆は、主に農民たちが団結して、高利貸しである土倉や酒屋を襲撃し、借用書を破棄させるなどして借金の無効を訴えた運動です。
問13	答え 1 15世紀	15世紀に入り、尚巴志が各地の勢力を平定して沖縄本島を統一し、琉球王国を建国しました。この国は、東アジアの海域ネットワークの中心として、中国や日本、東南アジアとの中継貿易によって大きな繁栄を遂げました。
問14	答え 2 中国	中国は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。琉球王国などは、この中国と日本、あるいは東南アジア諸国の間に立って仲介役を果たすことで、大きな経済的恩恵を受けました。この物流のつながりが、当時のアジアの経済圏を支えていました。
問15	答え 4 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問16	答え 4 和室	和室は、床の間という芸術品を飾る空間や、畳という天然素材の床材を備えた部屋です。室町時代に成立した様式がベースとなっており、その後、江戸時代などを通じて人々の生活様式に適したものと変化してきました。現在においても、伝統的な生活空間として多くの家に親しまれています。